

地質調査資料

既存図書

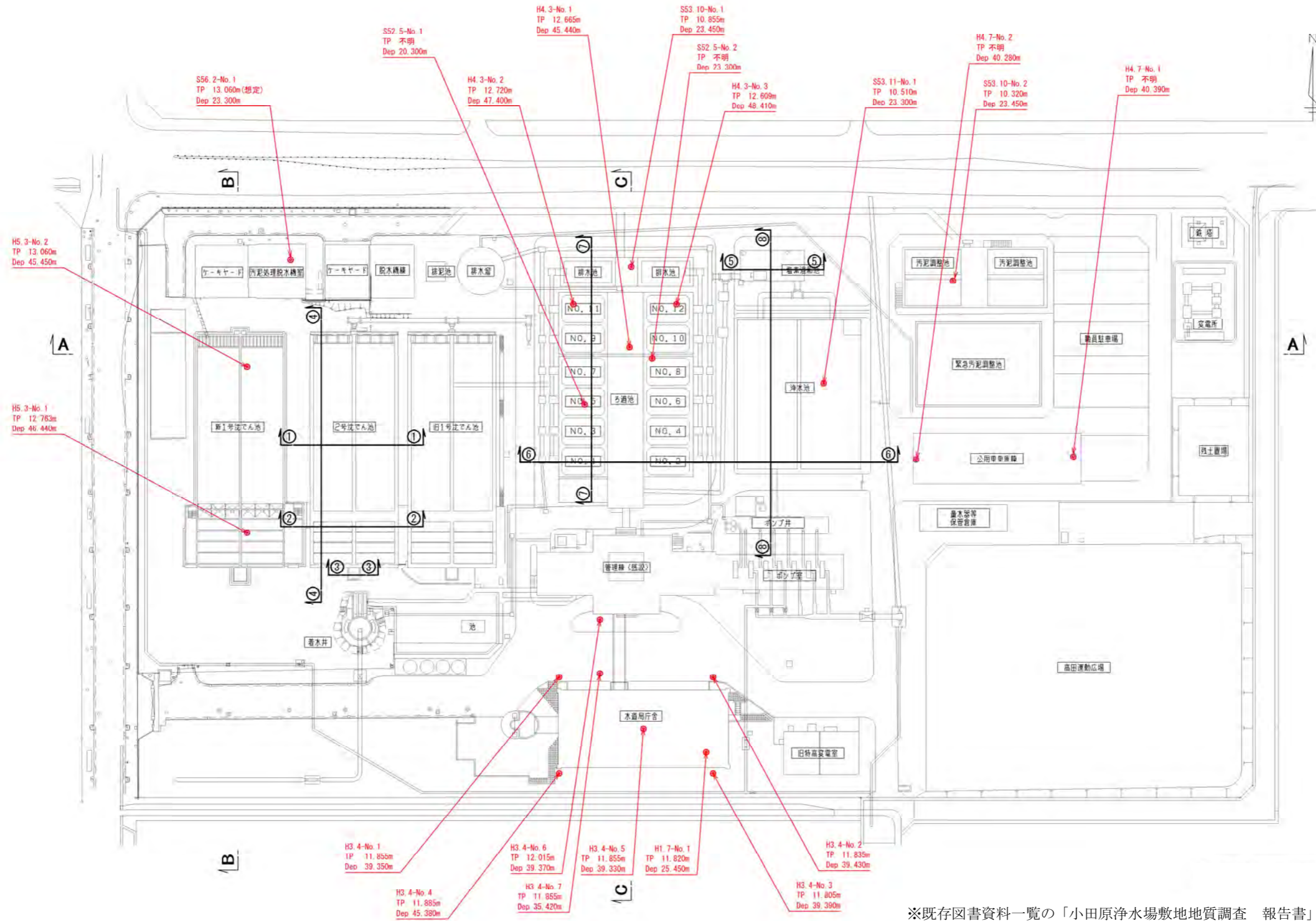
既存図書資料一覧を以下に示す。

既存図書資料一覧

No.	資料名	年月
1	小田原浄水場敷地地質調査 報告書*	昭和 41 年 3 月
2	急速汙過池築造ヶ所他 2 個所地質・土質調査業務委託 報告書	昭和 52 年 5 月
3	排水池及び汚泥調整池築造箇所地質、土質調査 報告書	昭和 53 年 10 月
4	浄水池築造箇所地質、土質調査 報告書	昭和 53 年 11 月
5	高田浄水場排水処理脱水機建屋敷地地質調査	昭和 56 年 2 月
6	高田浄水場受電設備工事に伴う地質調査業務委託 報告書	平成 元年 7 月
7	小田原市水道局庁舎建築工事地質調査 報告書	平成 3 年 4 月
8	水道施設設計業務（高田浄水場内） 地質調査報告書	平成 4 年 3 月
9	小田原市水道局公用車庫棟新設工事設計委託業務（地質調査） 報告書	平成 4 年 7 月
10	高田浄水場沈でん池設計委託業務 地質調査報告書	平成 5 年 3 月

注）地質調査報告書（試験結果等）については、閲覧資料として開示する。

なお、閲覧の詳細（閲覧の期間、場所、申込方法など）については、実施方針公表後に
本市ホームページで公開する。



※既存図書資料一覧の「小田原浄水場敷地地質調査 報告書」はボーリング調査位置が不明のため、記載していない

ボーリング調査位置図 (参考)

地質柱状図

(急傾斜地)

調査件名 急傾斜地築造箇所地質調査

NO. /

標高 - 0.430m

孔内水位 1.60m

調査期間

昭和52年 4月26日より
昭和52年 4月28日まで

調査員

- (注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
- 1 乱さない試料
 - 2 貫入試験機による試料
 - 3 コア-試料
2. 試料採取深度と回収比
- 3.20-3.70は試料採取深度 (m)
 - 45 は回収比 (50cm:貫入長さ、50 45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験					試料					
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数 10cm	20cm	30cm	N 値	10	20	30	40	50
	-0.430	0.00	0.00	1.60																
1	-2.230	1.80	1.50		粘土		軟らかく粘性の強い粘土質粘土(粘粉)	粘		2.6	2.6	2.6								
2	-2.890	2.45	0.65		粘土		火山砕屑物	粘		3.0	3.0	3.0								
3	-3.130	2.70	0.25		粘土		火山砕屑物	粘		4.4	4.4	4.4								
4	-4.230	3.80	1.10		黒色		細粒火山砕屑物	粘		3.4	3.4	3.4								
5							濃茶色の粘粉物と多量に黒色粘土状の粘土	粘		3.4	3.4	3.4								
6	-7.080	4.65	0.85		黒色		粘土	粘		5.0	5.0	5.0								
7							火山砕屑物、火山砕屑物の粘土	粘		7.0	7.0	7.0								
8							火山砕屑物の粘土	粘		8.0	8.0	8.0								
9	-10.180	9.25	3.10		黄緑色		山礫混入土	粘		9.0	9.0	9.0								
10								粘		10.0	10.0	10.0								
11							火山砕屑物の粘土	粘		11.0	11.0	11.0								
12							火山砕屑物の粘土	粘		12.0	12.0	12.0								
13							粘土	粘		13.0	13.0	13.0								
14							粘土	粘		14.0	14.0	14.0								
15							粘土	粘		15.0	15.0	15.0								
16	-17.180	16.25	7.00		粘土		山礫混入土	粘		16.0	16.0	16.0								
17							粘土	粘		17.0	17.0	17.0								
18							粘土	粘		18.0	18.0	18.0								
19	-18.930	18.50	2.75		粘土		山礫混入土	粘		19.0	19.0	19.0								
20	-20.730	20.30	0.80		粘土		山礫混入土	粘		20.0	20.0	20.0								
21							粘土	粘		21.0	21.0	21.0								
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				
30																				

地質柱状図

(急造調査)

調査件名 急造調査による個別所地質調査

NO. 2

標高 - 0.725m

孔内水位 1.75m

調査期間

昭和52年 4月30日より
昭和52年 5月6日まで

調査員

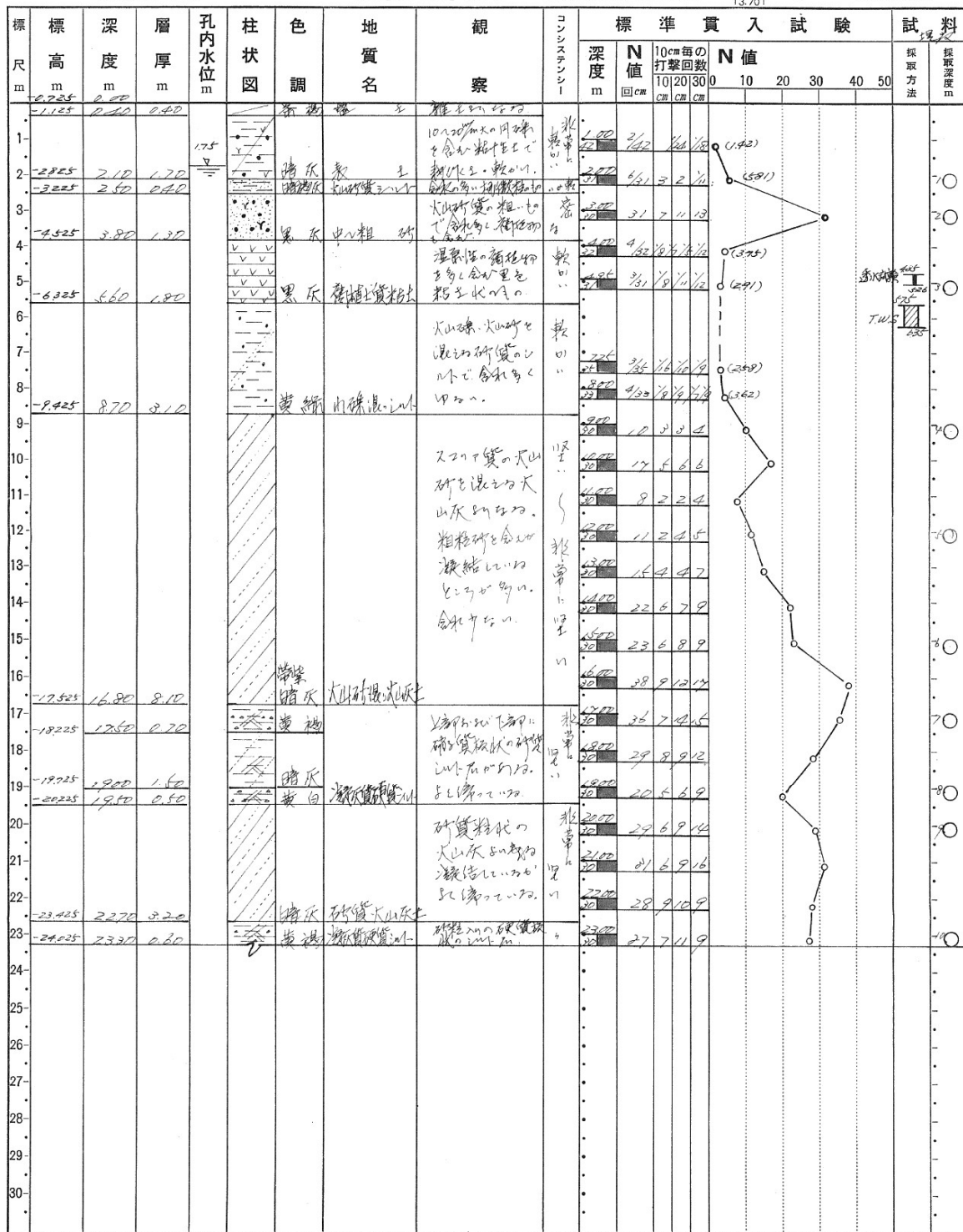
(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- 2 貫入試験機による試料
- 3 コア-試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20	45
50	
3.70	

3. 20-3.70は試料採取深度 (m)
45 は回収比 (50cm:貫入長さ,
50 45cm:試料長さ)



S53.10-No1

第 Ⅹ 土 質 柱 状 Ⅹ

備考

調査名 排水処理場汚泥調整池築造工事調査
ボーリング方法 ロ-97- 式
地点番号 No. / 標高 10.855 m
調査年月日 52年 9月 6日 ~ 9月 9日
孔内水位 1.95 m 担当者 ()

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	相対密度及比	コンシステンシー	記事	標準貫入試験 (N 値)									
											深度 (m)	N 値	10cm 毎の打撃回数							
											10	20	30	40	50					
0	10.855	0.00																		
1	10.255	0.60	0.60	YYY		粘土	暗褐色			ロ-6, 腐植物混入してゐる。	1.15	3/								
2	8.855	1.90	1.30	YYY		腐植土	黒褐色			ミミズ状に腐植物混入のロ-6。	1.45	3/	1	1	1/					
3	7.755	2.10	1.20	Y	3.00	細砂	黒褐色			腐植物混入してゐる。粘性少ない。	2.15	23/	30	5	17	11				
4				YYY	T.W.S 3.80	腐植土	黒褐色			若々ある。	2.45	4/								
5	5.855	5.00	1.90	YYY							2.75	4/	1	1	2/					
6							灰色			軽灰質である。	3.05	4/	1	1	2/					
7											3.35	4/	1	1	2/					
8							シルト			軽質である。腐植物混入してゐる。	3.65	5/	2	1	2/					
9							暗褐色				3.95	5/	2	1	2/					
10											4.25	5/	2	1	2/					
11	0.255	10.50	1.50							種灰質である。	4.55	5/	2	1	2/					
12										腐植物混入のロ-6が若干ある。	4.85	5/	2	1	2/					
13							暗褐色				5.15	5/	2	1	2/					
14											5.45	5/	2	1	2/					
15											5.75	5/	2	1	2/					
16							暗褐色				6.05	5/	2	1	2/					
17							暗褐色				6.35	5/	2	1	2/					
18											6.65	5/	2	1	2/					
19											6.95	5/	2	1	2/					
20											7.25	5/	2	1	2/					
21											7.55	5/	2	1	2/					
22	10.245	2.160	1.110							種灰質である。	7.85	7/	2	2	3/					
23										腐植物混入のロ-6が若干ある。	8.15	7/	2	2	3/					
24	12.245	2.245	1.85								8.45	7/	2	2	3/					
25											8.75	7/	2	2	3/					
26											9.05	7/	2	2	3/					
27											9.35	7/	2	2	3/					
28											9.65	7/	2	2	3/					
29											9.95	7/	2	2	3/					
30											10.25	7/	2	2	3/					

第 Ⅹ 土 質 柱 状 Ⅹ

備考

調査名 排水処理施設調査工事 現場調査
ボーリング方法 ロ-99-式
地点番号 No. 2 標高 10.320 m 調査年月日 53年 9月 9日~9月13日
孔内水位 1.20 m 担当者名 ()

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	相対密度及びコンシステンシー	記事	標準貫入試験 (N 値)					
										深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数			
										10	20	30	40	50	
0	10.220	0.00	0.20			埋工									
1	10.020	0.20	0.20			粘土質腐植土	褐色	軟	腐植物多い。	1.15	3	1	1	1	
2	8.520	1.20	1.50			シルト質腐植土	暗褐色	軟	吸孔腐植物多い。	1.45	3	1	1	1	
3	7.520	2.20	1.00			粗砂	暗黒色	中	小礫混入している。含水量大。	2.15	10	7	8	8	
4	6.920	4.40	1.60			凝灰質シルト	暗褐色	軟		2.45	10	6	7	7	
5										2.15	10	6	7	7	
6										2.45	10	6	7	7	
7	7.720	6.60	2.20			凝灰質シルト	暗褐色	軟		5.45	20	17	15		
8										6.15	20	17	15		
9										6.45	20	17	15		
10										7.15	20	17	15		
11	-0.120	10.52	3.90			シルト	暗褐色	軟	軟弱であるが固結物混入している。	7.45	20	16	14		
12										8.15	20	14	11	9	
13										8.45	20	14	11	9	
14										9.15	20	14	11	9	
15										9.45	20	14	11	9	
16										10.15	20	14	11	9	
17										10.45	20	14	11	9	
18										11.15	20	14	11	9	
19										11.45	20	14	11	9	
20										12.15	20	14	11	9	
21										12.45	20	14	11	9	
22	-11.120	21.70	11.20			固結シルト	暗褐色	硬	やや固結した塊状の混入している。	13.15	20	14	11	9	
23										13.45	20	14	11	9	
24										14.15	20	14	11	9	
25										14.45	20	14	11	9	
26										15.15	20	14	11	9	
27										15.45	20	14	11	9	
28										16.15	20	14	11	9	
29										16.45	20	14	11	9	
30										17.15	20	14	11	9	
										17.45	20	14	11	9	
										18.15	20	14	11	9	
										18.45	20	14	11	9	
										19.15	20	14	11	9	
										19.45	20	14	11	9	
										20.15	20	14	11	9	
										20.45	20	14	11	9	
										21.15	20	14	11	9	
										21.45	20	14	11	9	
										22.15	20	14	11	9	
										22.45	20	14	11	9	
										23.15	20	14	11	9	
										23.45	20	14	11	9	

地質柱状図

(注) 1. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と固さ比
 3. 20-3.70は試料採取深度(cm)
 45 は固さ比(50cm:貫入深さ,
 50 45cm:試料長さ)

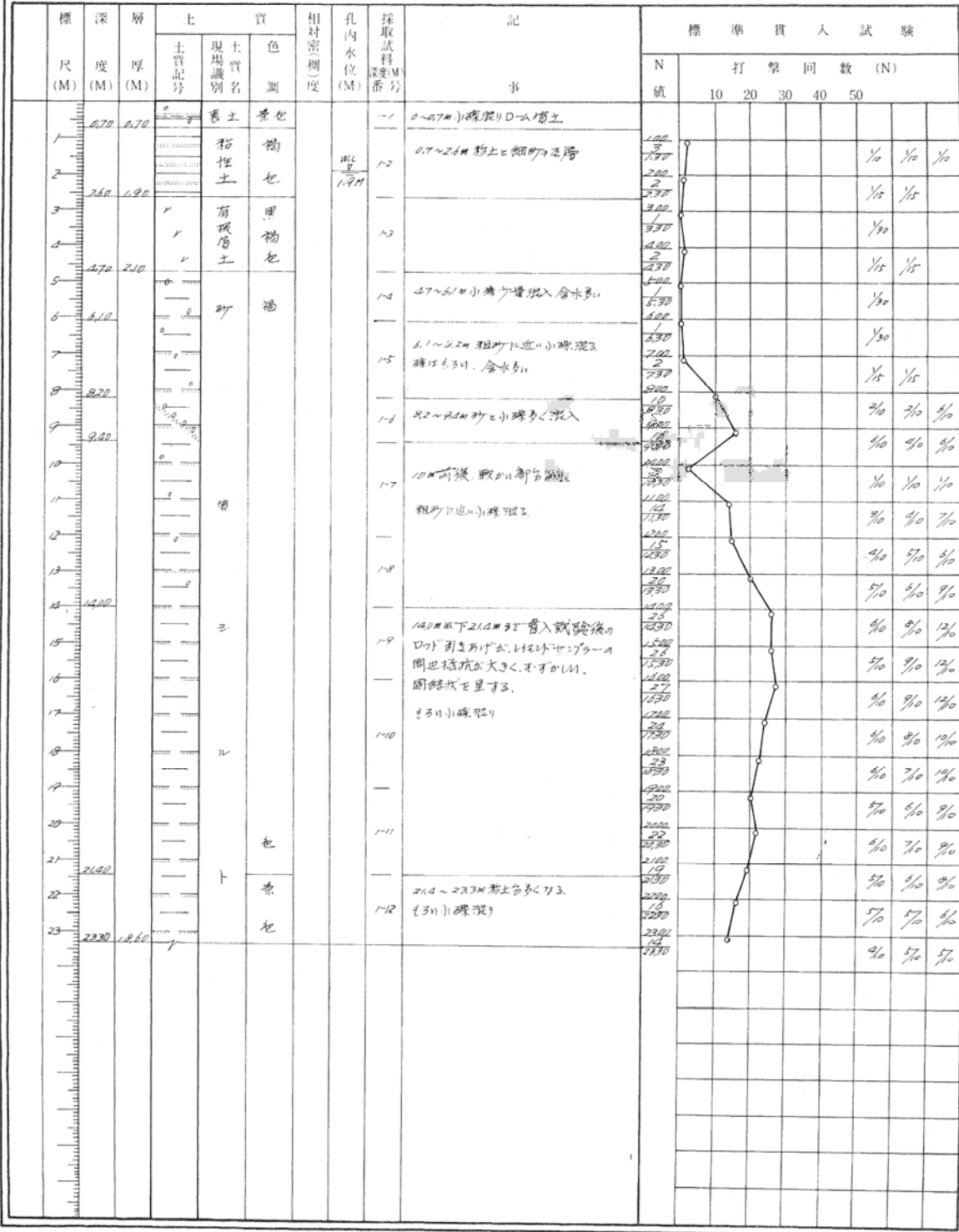
調査件名 浄水池築造箇所地質調査 NO. 1 標高 10.57m
 孔内水位 1.50m 調査期間 昭和53年10月26日より
 昭和53年10月30日まで 調査員

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験					採取方法	採取深度 m			
										深度 m	N値 回/cm	10cm毎の 打撃回数	N値						
										0	10	20	30	40	50				
	10.10	0.50	0.50		香樹型 暗緑灰 踏灰型		盛土	毛研石の盛土	極軟	1.00 3.5	11	11	11						
1	8.91	1.60	1.10	1.50	暗緑灰 踏灰型		研石シルト	旧耕作土に 中粒性がある	中	2.00 3.0	12	15	6						
2					暗緑灰			含水量が多 崩壊性が多い	中	3.00 3.0	3	10	11	12					
3	6.71	3.30	2.20		黒色		細粒粒火山砂	火山砂多	軟	4.00 3.0	4	11	31						
4					暗緑灰			粘性層状物を 含む粘性の多い	軟	5.00 3.0	21	11	11						
5	5.01	5.50	1.70		暗緑灰		粘土		軟	6.00 3.0	31	11	11						
6	4.11	6.40	0.90		暗緑灰		腐植質シルト	火山砂、厚石を 含む	軟	7.00 3.0	31	11	11						
7					暗緑灰			火山砂、厚石を 含む火山灰類の シルト、含水量多 軟いもの	軟	8.00 3.0	21	11	11						
8					暗緑灰		火山灰類		軟	9.00 3.0	21	11	11						
9	1.61	9.50	3.10		暗緑灰		研石シルト		軟	10.00 3.0	21	11	11						
10					暗緑灰			上部と同じ	中	11.00 3.0	9	2	3	4					
11					暗緑灰			含水量が多 や、硬いもの	中	12.00 3.0	8	2	2	4					
12					暗緑灰		火山灰類		中	13.00 3.0	9	1	1	2					
13	-2.49	13.00	3.50		暗緑灰		研石シルト		中	14.00 3.0	10	4	3	3					
14					暗緑灰			含水量多 崩壊性多 厚石を 含む	中	15.00 3.0	15	4	5	6					
15					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	16.00 3.0	17	4	6	7					
16					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	17.00 3.0	17	4	5	8					
17					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	18.00 3.0	23	5	8	10					
18					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	19.00 3.0	15	4	5	6					
19					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	20.00 3.0	22	5	7	10					
20					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	21.00 3.0	15	4	5	6					
21					暗緑灰			崩壊性多 厚石を 含む	中	22.00 3.0	15	4	5	6					
22	-11.99	22.50	9.50		暗緑灰		研石シルト		中	23.00 3.0	17	4	6	7					
23	-12.79	23.30	0.80		暗緑灰		研石厚石	崩壊性多 厚石を 含む	中	24.00 3.0	12	4	4	4					
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			

土質柱状断面図

調査名	高田浄水場排水処理設備建設地		
調査地区	山田新田新田32番地		
調査地点	No. 1	地盤高	m

調査員	
調査期間	昭和56年2月16日～2月19日
施工者	



H3.4-No.2

上: 電気 材: 丸太 1×1 (No.2)

調査名 小田原市水道局庁舎建築工事地質調査

調査地 神奈川県小田原市高田

調査年月日 平成3年3月28日～3年4月5日

標高 11.835 m

孔内水位 GL -1.30 m

技術者 [Redacted]

標高 m	深 m	層厚 m	柱状 図	土質 名	観察	原位置 試験 深度 m	標準貫入試験				試験					採取 深度 m		
							深 m	N 値/cm	10cm 毎の 打撃回数		N 値	採取 方法	採取 深度 m					
									10 cm	30 cm				0	10		20	30
10.83	1.20	1.20	[Symbol]	茶褐色土	上部は石を含む。粘土及びローム混入する	1.15	2	1	1	2								
8.83	3.00	1.80	[Symbol]	褐色粘土	下部は緑灰色のシルト層状	2.45	3	1	1	3								
7.23	4.60	1.60	[Symbol]	黄褐色砂	5-10m位の硬さ。透水性多い	4.45	23	6	7	10								
6.33	5.50	0.90	[Symbol]	褐色シルト	層状物混入。層状物層状に硬む	5.15	3	1	1	1								
4.93	6.90	1.40	[Symbol]	黄褐色シルト混り粘土	粒状の浮石混入。緑灰色混入	6.15	3	1	1	1								
1.93	9.90	3.00	[Symbol]	黄褐色粘土	層状物混入。所々緑灰色混入	7.15	4	1	1	2								
0.33	11.50	1.80	[Symbol]	褐色凝灰質粘土	硬質になる	11.45	4	1	1	2								
-4.26	16.10	4.80	[Symbol]	褐色凝灰質粘土	13.00m位より緑灰色多くなり固結物多くなる	13.15	15	4	5	6								
-12.06	23.90	7.80	[Symbol]	褐色凝灰質粘土	14.00m位より粒状の浮石多くなり固結物多くなる	14.15	11	3	4	4								
-14.56	26.40	2.50	[Symbol]	黄褐色凝灰質粘土	粒状の固結物混入	15.15	12	4	4	4								
-18.16	31.00	4.60	[Symbol]	褐色凝灰質粘土	層状の浮石混入。緑灰色の固結物混入	16.15	20	6	7	7								
-27.59	39.43	8.43	[Symbol]	褐色粘土混り砂	硬質になる	17.15	17	5	5	7								
			[Symbol]		18m位より所々固結している	18.15	21	6	7	8								
			[Symbol]			19.15	50	13	17	20								
			[Symbol]			20.15	40	12	14	14								
			[Symbol]			21.15	22	5	7	10								
			[Symbol]			22.15	37	10	12	15								
			[Symbol]			23.15	40	12	12	16								
			[Symbol]			24.15	23	6	8	9								
			[Symbol]			25.15	25	7	8	10								
			[Symbol]			26.15	23	6	7	10								
			[Symbol]			27.15	23	6	7	10								
			[Symbol]			28.15	35	10	12	13								
			[Symbol]			29.15	37	10	12	15								
			[Symbol]			30.15	40	10	13	17								
			[Symbol]			31.15	45	12	15	18								
			[Symbol]			32.15	40	10	14	16								
			[Symbol]			33.15	50	20	30									
			[Symbol]			34.15	50	17	20	13								
			[Symbol]			35.15	50	18	20	12								
			[Symbol]			36.15	50	15	17	13								
			[Symbol]			37.15	50	18	20	12								
			[Symbol]			38.15	50	15	16	13								
			[Symbol]			39.15	50	17	18	15								
			[Symbol]			40.43												

H3.4-No.4

1: 100 寸法 単位: 寸法 100 (X 0.4)

調査名 小田原市水道局庁舎建築工事地質調査

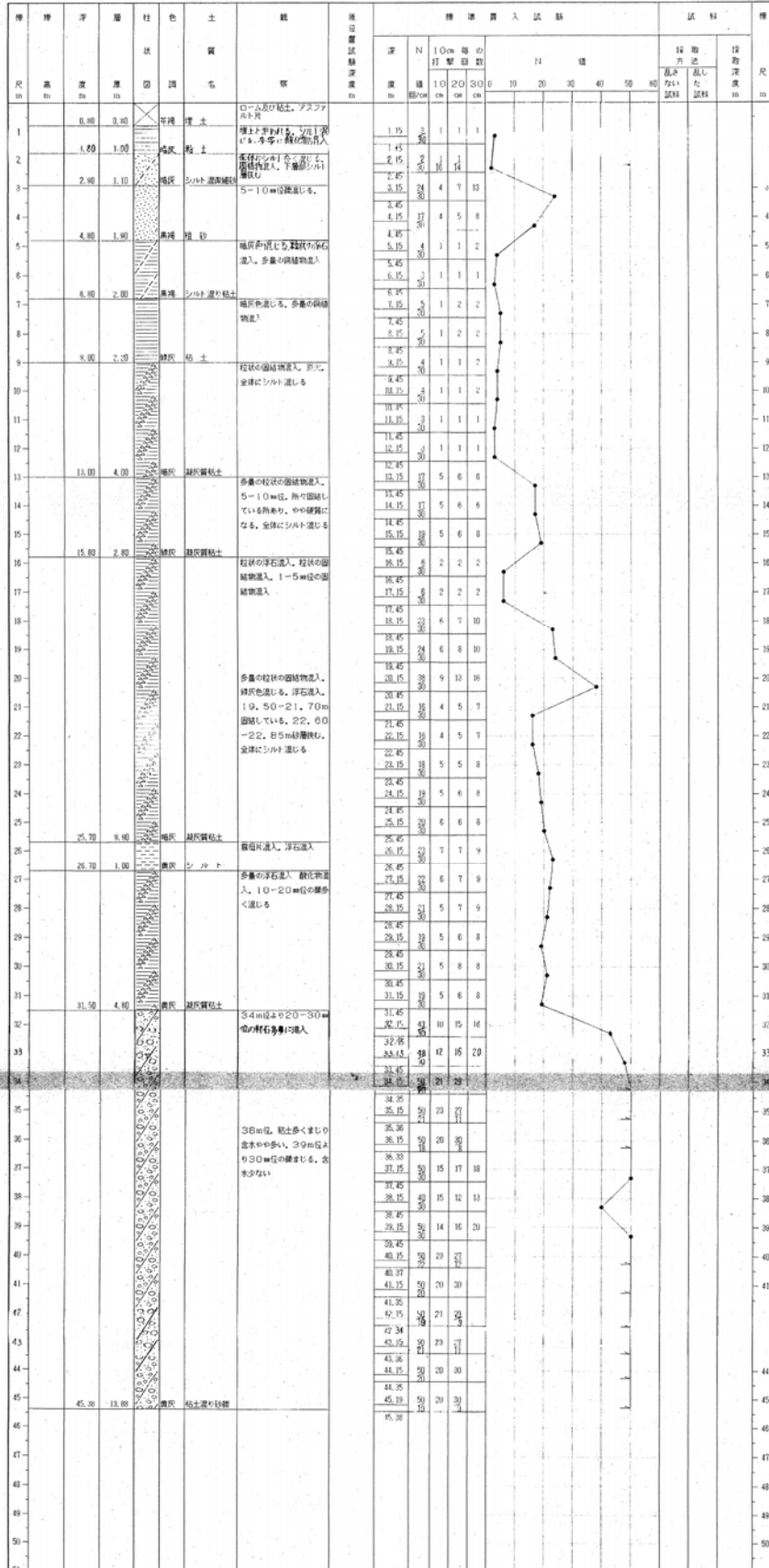
調査年月日平成3年3月6日～3年3月12日

調査地 神奈川県小田原市高田

標高11.885m

孔内水位 GL 1.50 m

技師者 [Redacted]



H3.4-No.5

1: 200 柱: 100 (No.5)

調査名 小田原市水道局庁舎建築工事地質調査

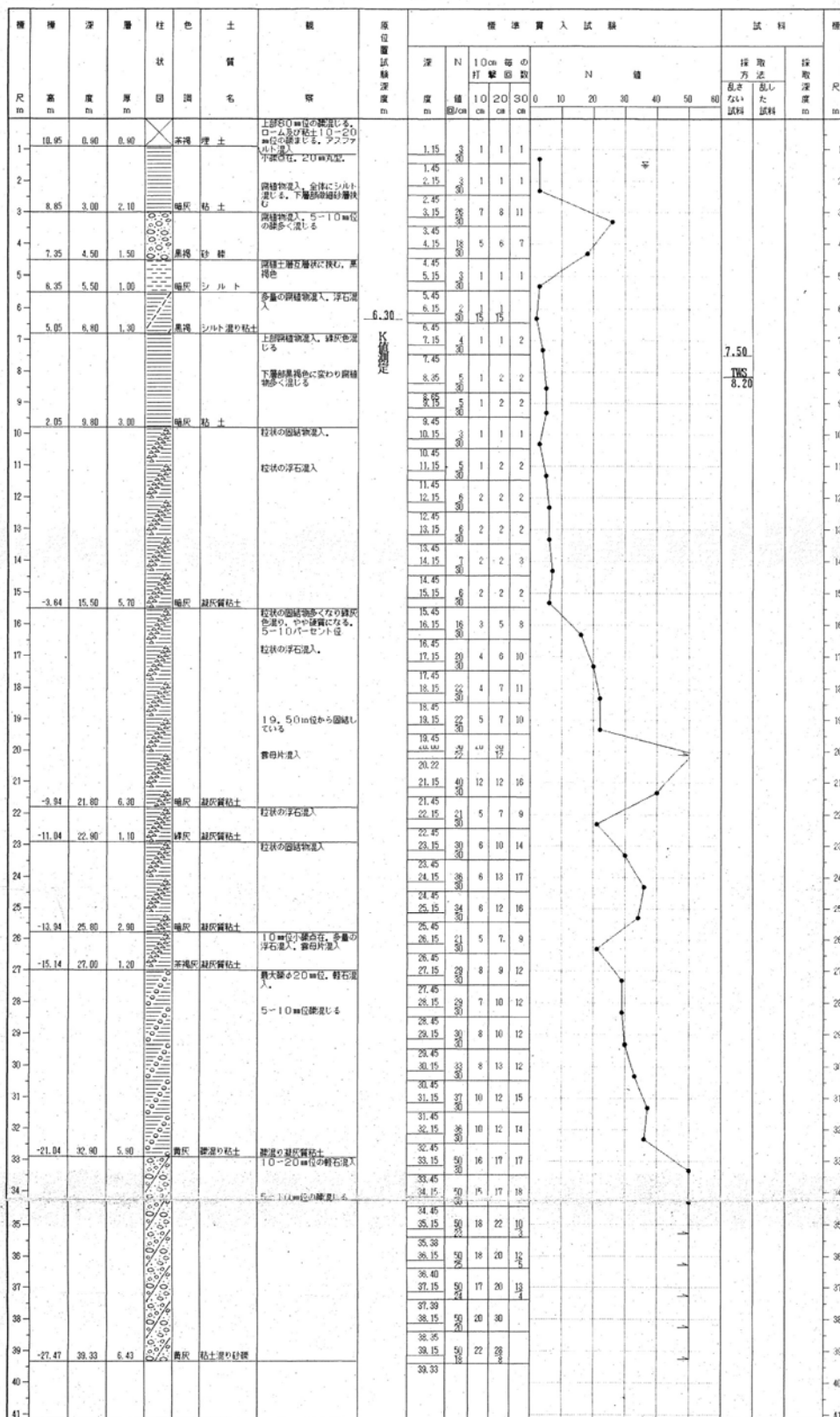
調査地 神奈川県小田原市高田

調査年月日 平成3年3月20日~3年3月28日

標高 11.855 m

孔内水位 GL-1.50 m

技術者



H3.4-No.6

1. 管 柱 状 図 (No.6)

調査名 小田原市水道局庁舎建築工事地質調査

調査地 神奈川県小田原市高田

調査年月日 平成3年3月29日～3年4月5日

標高 12.015 m

孔内水位 GL -1.45 m

技術者

標高 m	深 m	層厚 m	柱状 図	土質 名	観察 記	標高 m	標準貫入試験					試験		採取 深度 m				
							深 m	N 値	10cm 毎の 打撃 回数	N 値					採取 方法	試験 結果		
尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m	尺 m
1					異種物混入	1.15	1	1										
2	9.03	2.80	2.80	地層	埋土	1.45	1	1										
3	8.43	3.40	0.60	地層	シルト	3.15	4	1	1	1	2							
4					異種物混入 φ50前後の小礫主体	4.45	11	11	11	14								
5	6.73	5.10	1.70	地層	砂層	4.45	2	2	1	1								
6					含砂多い	5.15	1	1	1	1								
7						6.15	3	1	1	1								
8					所々異種物混入	6.45	4	1	1	2								
9						7.15	4	1	1	2								
10						8.15	4	1	1	2								
11	0.83	11.00	5.90	地層	シルト	8.45	6	2	2	2								
12					所々異種物混入	9.45	5	1	2	2								
13					所々薄くシルトを挟む	10.15	7	2	3	2								
14					所々砂分の多い部分を挟む	11.15	8	2	3	3								
15						12.15	11	3	3	4								
16					浮石混入	13.15	11	3	3	4								
17						14.15	13	4	4	5								
18					所々固結状を呈す	14.45	13	4	4	5								
19					所々異種物混入	15.15	8	2	3	3								
20					浮石混入	16.15	12	3	4	5								
21					所々固結状を呈す	16.45	16	5	5	6								
22					所々異種物混入	17.15	16	5	5	6								
23					浮石混入	18.15	23	6	7	7								
24					所々固結状を呈す	18.45	23	6	7	7								
25					所々浮石混入	19.15	22	6	7	9								
26					粒子不均一	19.45	19	5	6	7								
27					所々砂分多い	20.15	19	5	6	7								
28	-14.96	26.80	15.80	地層	凝灰質シルト	20.45	17	5	5	7								
29					所々φ10前後の小礫混入	21.15	12	4	4	4								
30	-17.16	29.00	2.20	地層	シルト混り凝灰	21.45	12	4	4	4								
31						22.15	16	5	5	6								
32					所々φ10前後の小礫混入	22.45	17	5	6	6								
33					所々砂分多い	23.15	17	5	5	7								
34						23.45	17	5	5	7								
35					所々浮石混入	24.15	17	5	5	7								
36						24.45	17	5	5	7								
37					φ10-20程度の礫混入	25.15	33	8	7	7								
38						25.45	33	8	7	7								
39	-27.53	39.37	8.87	地層	凝灰質シルト	26.15	22	6	6	10								
40						26.45	22	6	6	10								
41						27.15	17	5	5	7								
						27.45	19	6	6	7								
						28.15	19	6	6	7								
						28.45	21	6	7	8								
						29.15	21	6	7	8								
						29.45	23	7	7	9								
						30.15	23	7	7	9								
						30.45	36	11	12	13								
						31.15	36	11	12	13								
						31.45	38	14	16	18								
						32.15	38	14	16	18								
						32.45	50	21	25	4								
						33.15	50	21	25	4								
						33.38	50	21	25	4								
						34.15	50	21	25	4								
						34.38	50	21	25	4								
						35.15	50	21	25	4								
						35.38	50	21	25	4								
						36.15	50	21	25	4								
						36.37	50	21	25	4								
						37.15	50	21	25	4								
						37.38	50	21	25	4								
						38.15	50	21	25	4								
						38.34	50	21	25	4								
						39.15	50	21	25	4								
						39.37	50	21	25	4								

H3.4-No.7

土質 柱状 試料 (No.7)

調査名 小田原市水道局庁舎建築工事地質調査

調査地 神奈川県小田原市高田

調査年月日 平成3年4月6日~3年4月9日

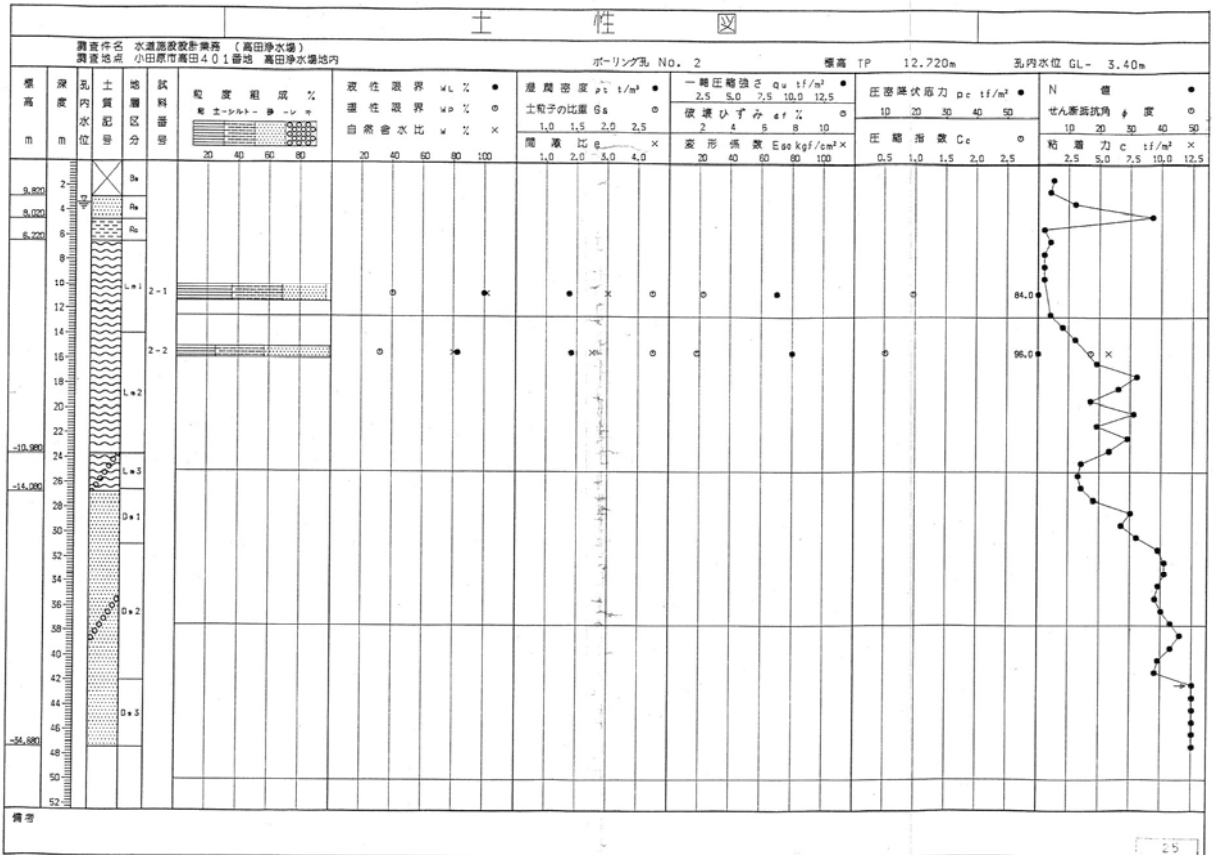
標高 11.855 m

孔内水位 GL-1.50 m

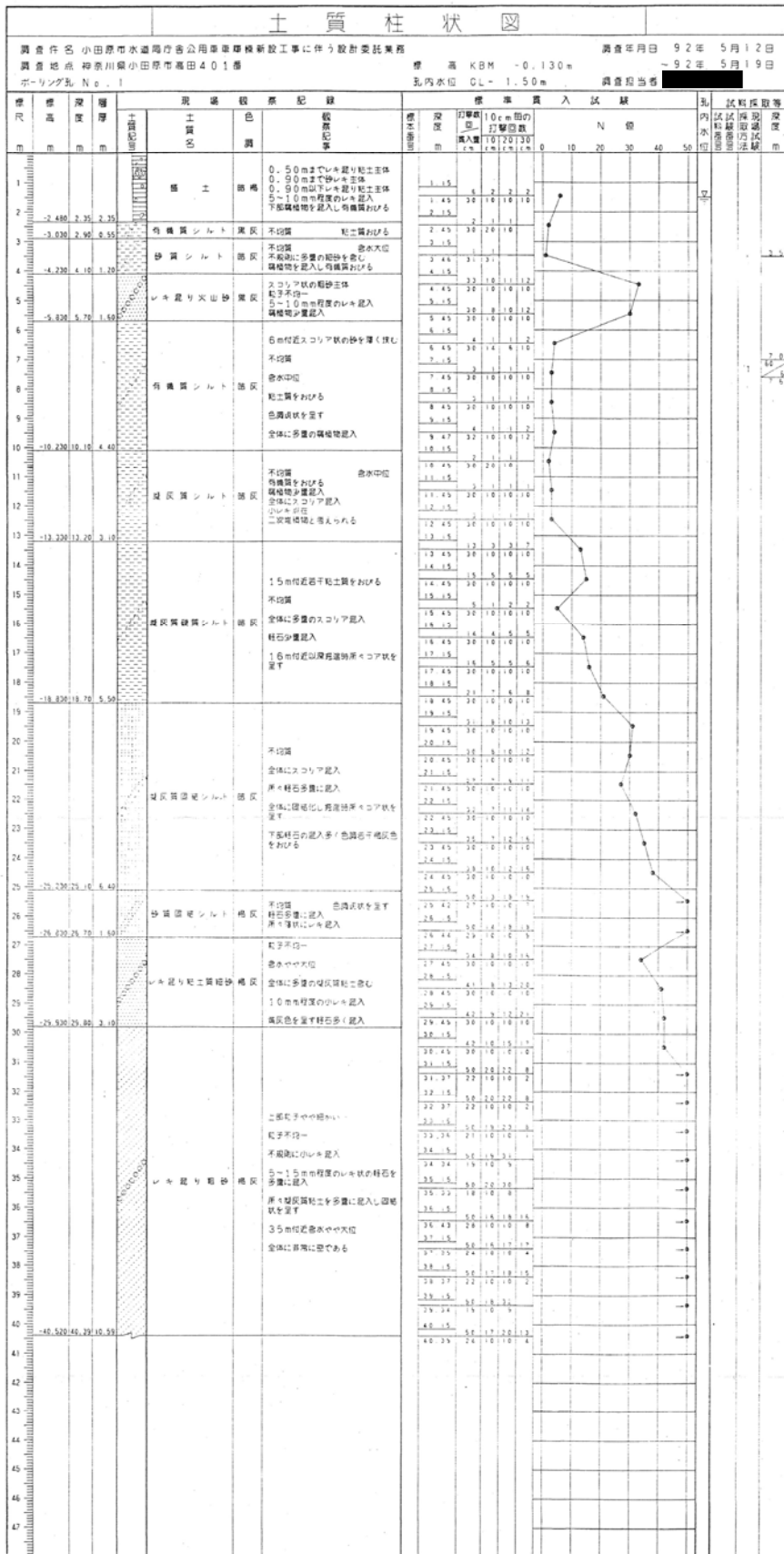
技術者

標高 m	深 m	層厚 m	柱状 図	土質 名	備考	原位置 試験深 度 m	標準貫入試験					試験		標高 m
							深 度 m	N 値 回/30 cm	10cm の 打撃 回数 回	20cm の 打撃 回数 回	30cm の 打撃 回数 回	N 値	採取 方法 乱した 試料	
10.85	1.00	1.00		赤褐色土	ローム及び粘土0.50m より試験する。50-80 程度の固結物混入。少量に シルト混入。下部は緑灰色 のシルト層状。	1.15	2	1	1				1	
						1.45	2	1	1				2	
						2.15	2	1	1				2	
8.75	3.10	2.10		褐灰色土	含砂多い	2.45	2	1	1				3	
						3.15	7	7	10				3	
						3.45	2	1	1				4	
						4.15	13	5	6	7			4	
7.35	4.50	1.40		赤褐色土	5-10mm程度の固結物 混入。少量のシルト混入。	4.45	2	1	1				5	
						5.15	2	1	1				5	
						5.45	2	1	1				6	
						6.15	3	1	1				6	
						6.45	3	1	1				7	
						7.15	3	1	1				7	
						7.45	3	1	1				8	
						8.15	4	1	1	2			8	
3.15	8.70	4.20		褐灰色土		8.45	3	1	1				9	
						8.15	3	1	1				9	
						8.45	3	1	1				10	
						9.15	4	1	1	2			10	
						10.15	4	1	1	2			11	
						10.45	4	1	1	2			11	
						11.15	4	1	1	2			12	
						11.45	9	3	3	3			12	
						12.15	9	3	3	3			13	
						12.45	8	3	2	3			13	
						13.15	8	3	2	3			14	
						13.45	9	3	3	3			14	
						14.15	9	3	3	3			15	
						14.45	12	3	4	5			15	
						15.15	13	3	4	5			16	
						15.45	13	4	4	5			16	
						16.15	13	4	4	5			17	
						16.45	11	3	3	5			17	
						17.15	11	3	3	5			18	
-5.64	17.50	8.80		褐灰色土	緑灰色の粗粒の固結物混入。 1.50mより試験する。	17.45	8	12	16				18	
						18.15	8	12	16				19	
						18.45	10	12	15				19	
						19.15	10	12	15				20	
						19.45	12	18	18				20	
						20.15	12	18	18				21	
						20.45	7	7	10				21	
						21.15	7	7	10				22	
						21.45	8	8	10				22	
						22.15	8	8	10				23	
						22.45	8	8	10				23	
						23.15	8	8	10				24	
						23.45	9	10	11				24	
						24.15	9	10	11				25	
						24.45	8	8	12				25	
						25.15	8	8	12				26	
-13.74	25.80	8.10		褐灰色土	浮石混入。黄褐色土。5- 10mm程度の細石混入。	25.45	5	6	8				26	
						26.15	5	6	8				27	
						26.45	6	6	8				27	
						27.15	6	6	8				28	
						27.45	5	6	8				28	
						28.15	5	6	8				29	
						28.45	7	7	8				29	
						29.15	10	12	18				30	
						29.45	10	12	18				30	
						30.15	13	14	18				31	
						31.15	13	14	18				31	
						31.45	10	13	16				32	
						32.15	10	13	16				32	
						32.45	15	16	18				33	
						33.15	15	16	18				33	
						33.45	15	17	18				34	
						34.15	15	17	18				34	
						34.45	18	18	18				35	
						35.15	18	18	18				35	
						35.45	18	18	18				36	
						36.45	18	18	18				36	
						36.75	18	18	18				37	
						37.05	18	18	18				37	
						37.35	18	18	18				38	
						37.65	18	18	18				38	
						37.95	18	18	18				39	
						38.25	18	18	18				39	
						38.55	18	18	18				40	
						38.85	18	18	18				40	
						39.15	18	18	18				41	
						39.45	18	18	18				41	

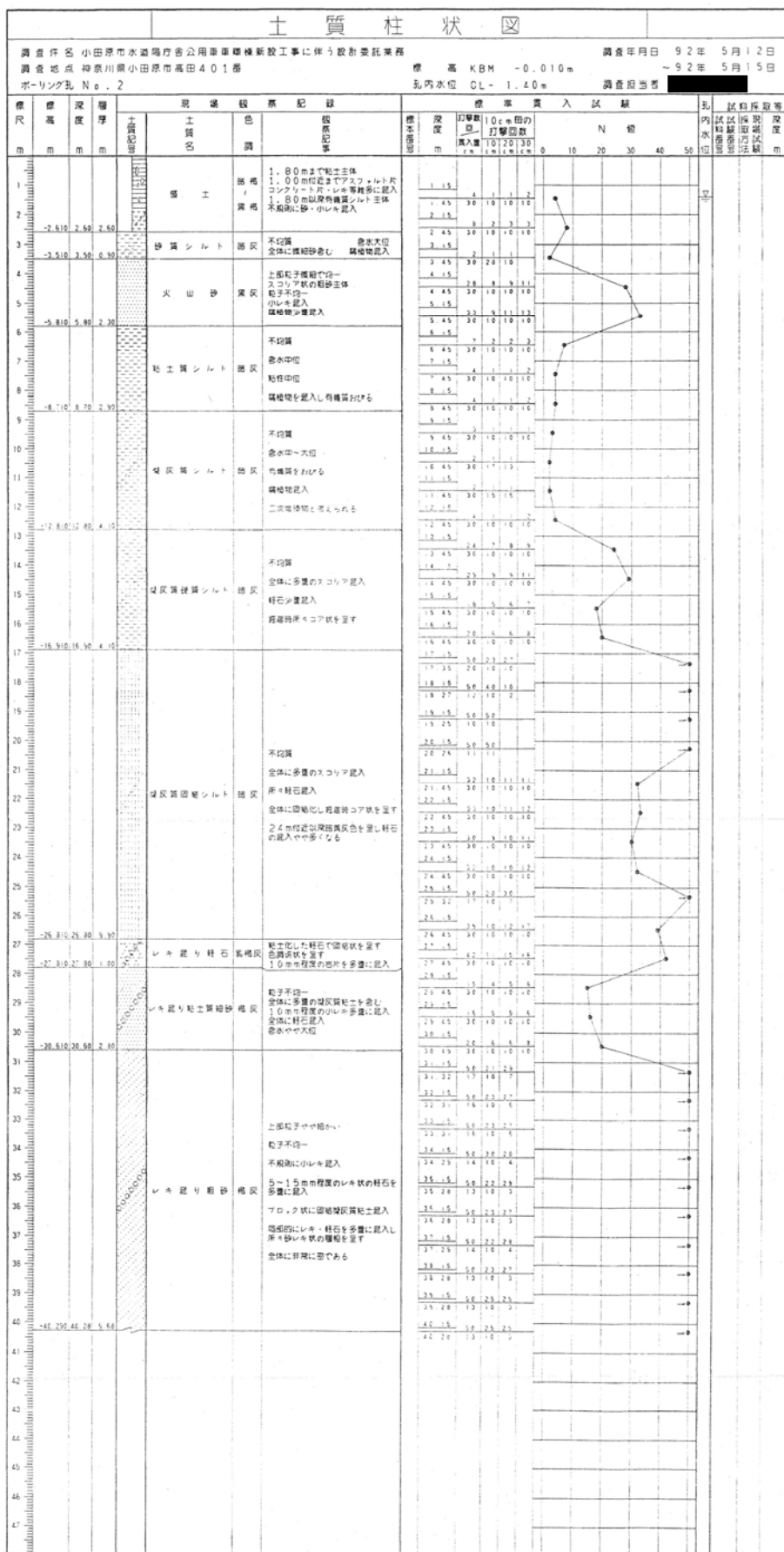
H4.3-No.2



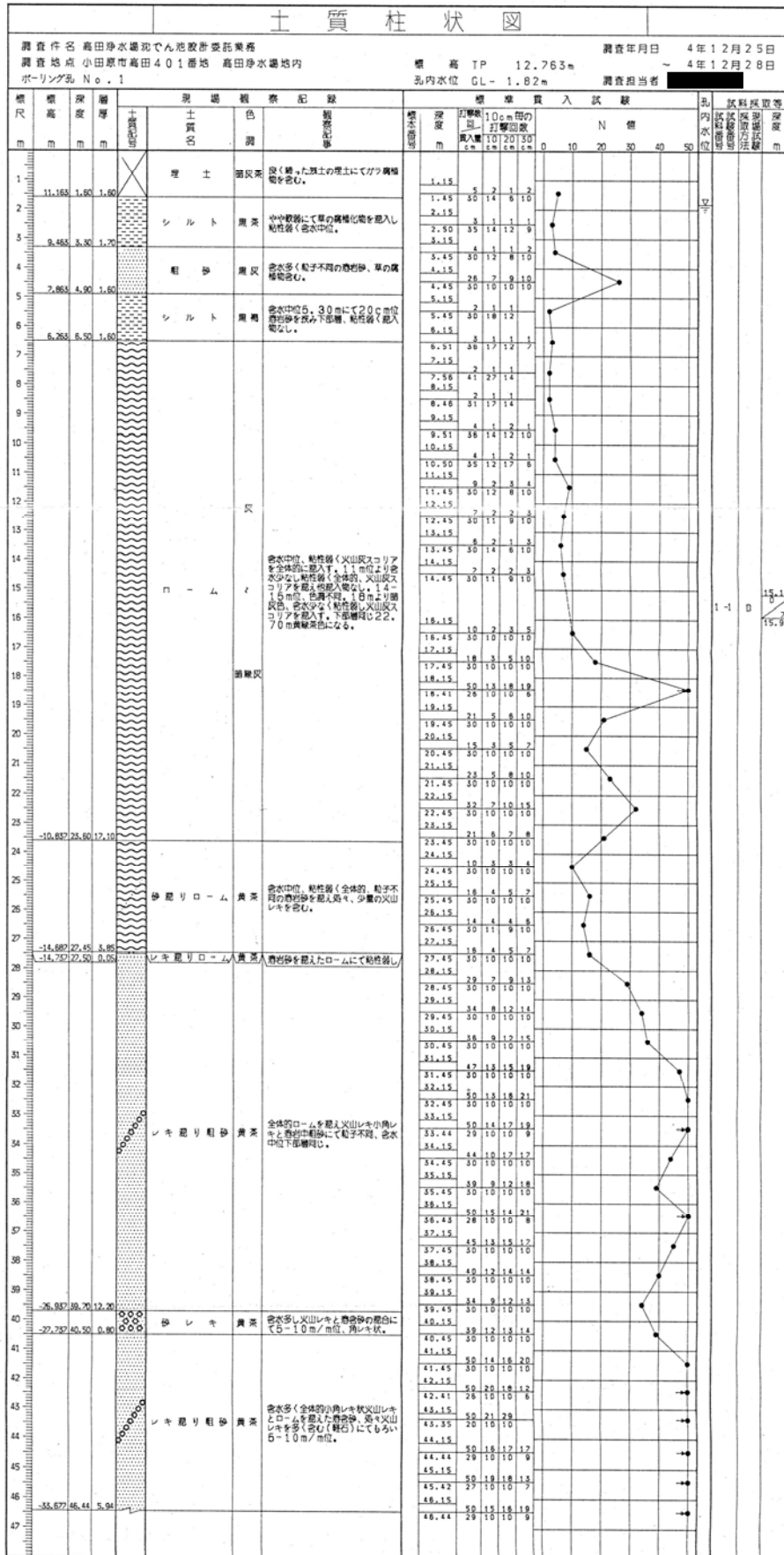
H4.7-No.1



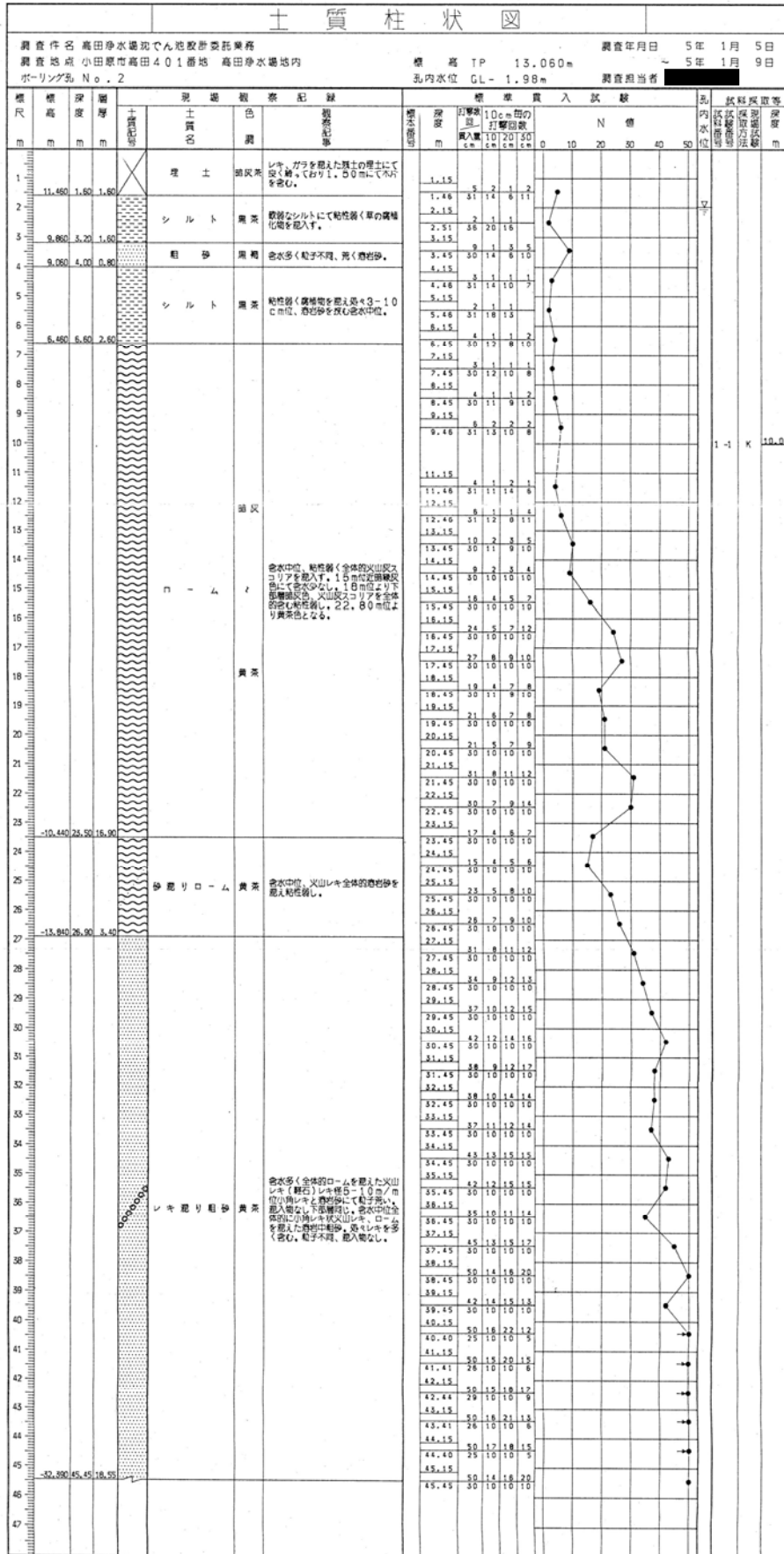
H4.7-No.2



H5.3-No.1

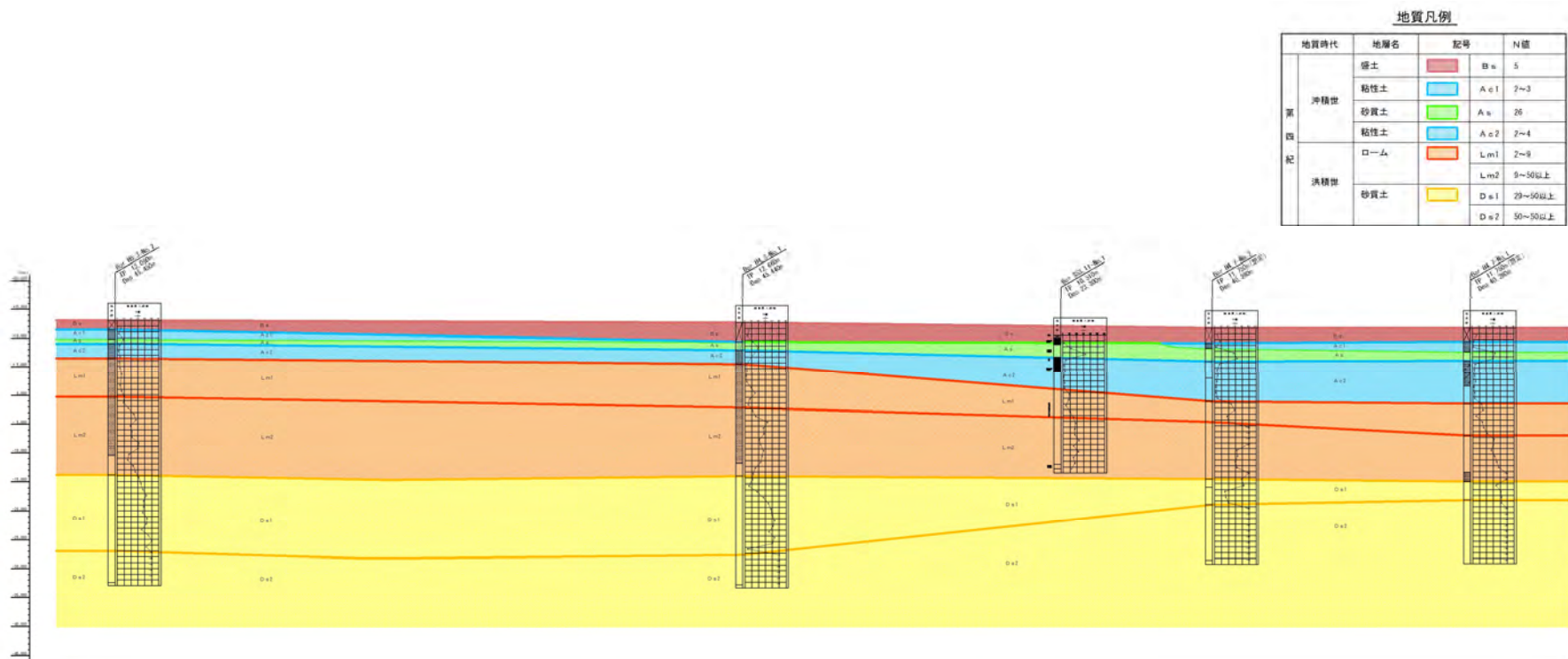


H5.3-No.2

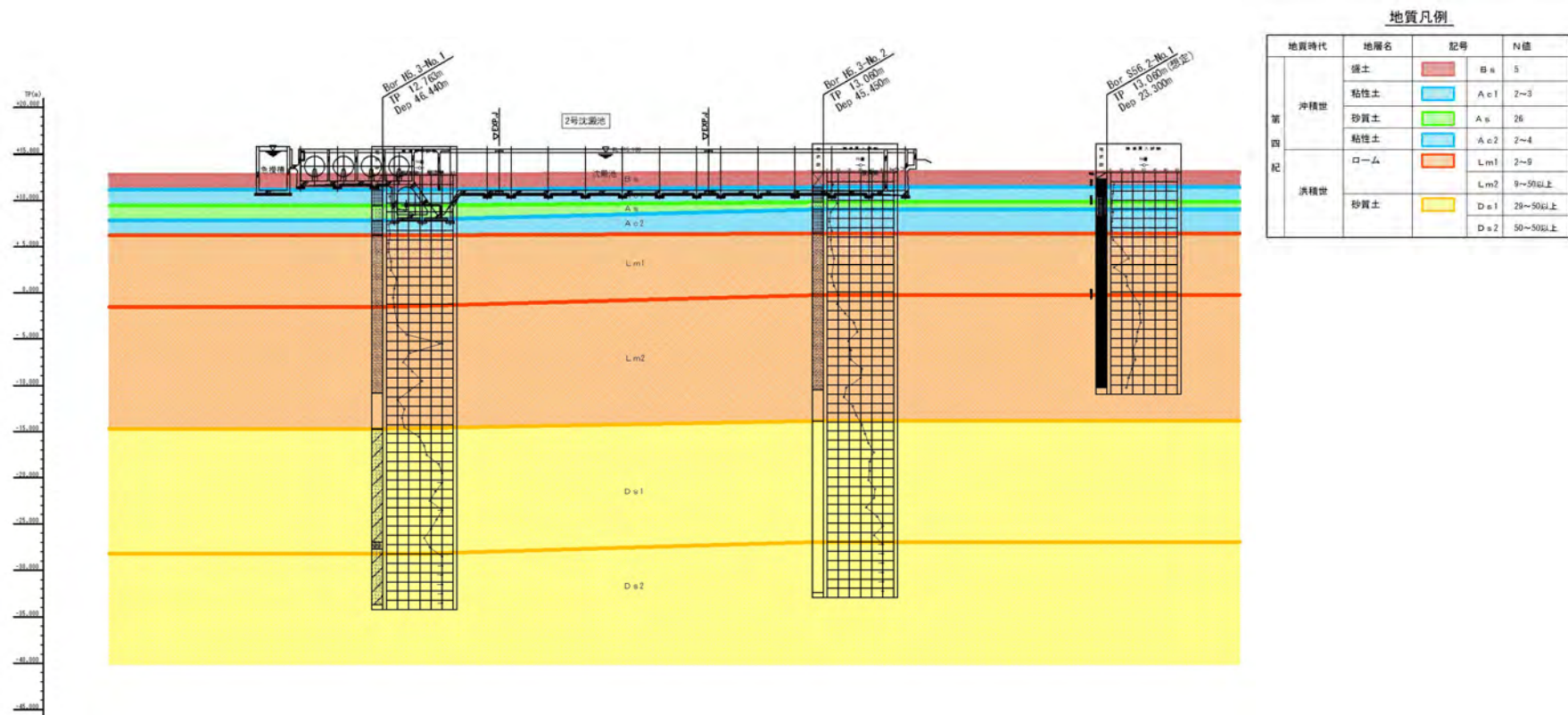


参考資料

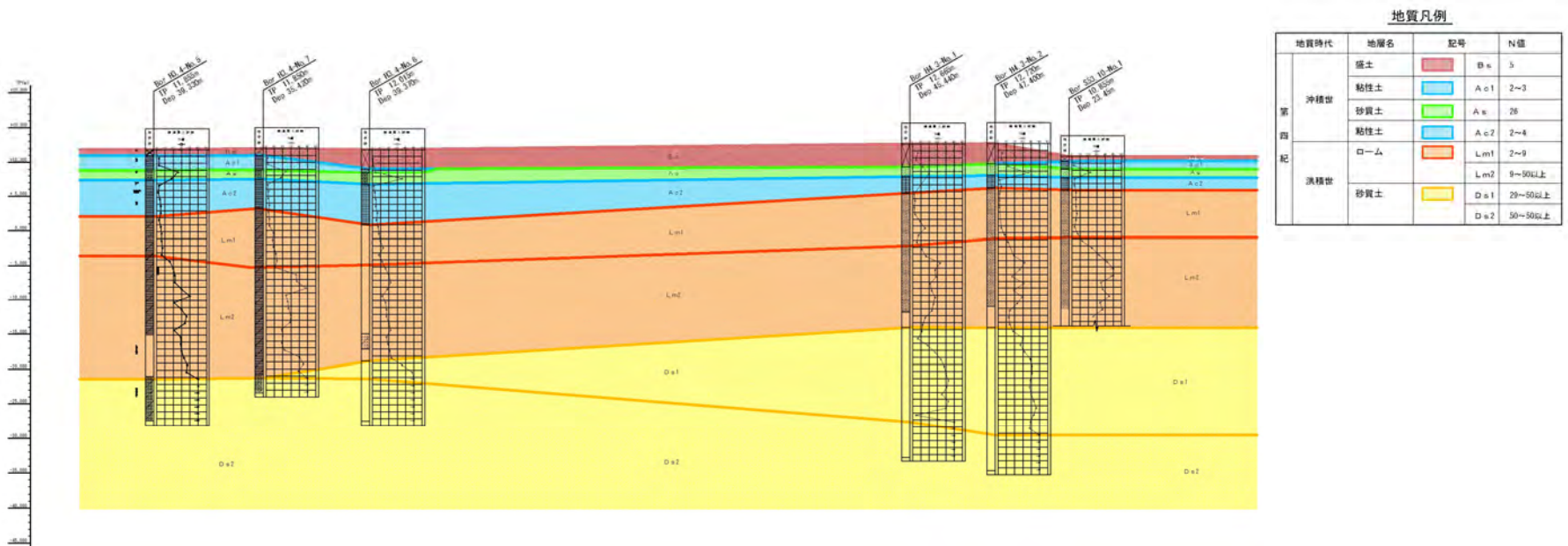
想定断面図は、過去のボーリング調査で得られた地層情報から断面的に地層の広がり方を想定したものであり、実際の地層状況を示したものでないことに留意する。



想定地層断面図 (A-A)



想定地層断面図 (B-B)



想定地層断面図 (C-C)